

自衛隊体育学校

メダリストの偕行社来訪

編集委員会

2020東京オリンピックでは、自衛隊体育学校の自衛官選手が大活躍しました。

偕行社では、オリンピック開始直前に、会員の皆様から寄せられた寄付と偕行社からの支援を体育学校長にお渡ししましたが、10月26日、その返礼を兼ねて体育学校長豊田真陸将補とメダリスト2名（フェンシング金メダリスト山田優2等陸尉、ボクシング銅メダリスト並木月海3等陸曹）が偕行社に来訪されました。

豊田学校長からは、「偕行社の皆様のご支援のお陰もあり、今回、体育学校史上最多のメダルを獲得することができました。本日、2人のメダリストとともにお礼に参りました。今後とも学校としてより一層自衛官アスリートを支援して参ります」とのご挨拶がありました。

山田2尉からは、偕行社の支援に對するお礼の後、次のパリオリンピックに向けた決意の言葉があり、

並木3曹からは、偕行社の皆様の応援に對する感謝と銅メダルで悔しい思いがしたが、今は誇りに思っているとの言葉がありました。

深山副理事長からは、自衛官アスリートの活躍を大変嬉しく思っていることと、今回の訪問に對する感謝が述べられました。

その後、和気あいあいの雰囲気の中で懇談が行われ、2名のアスリートからはメダルが披露され、体育学校長から記念プレート等の贈呈がありました。



右から豊田学校長、並木3曹
深山副理事長、山田2尉

フェンシングはスピード、反射能力、頭腦的な駆け引きが必要なスポーツと言われますが、山田2尉は、185センチぐらいのスラリとした長身

で、手足が長く、知的な雰囲気を持つアスリートでした。

一方、ボクシングは格闘技を代表するスポーツ。並木3曹はどこから見ても大和撫子ですが、心の中に強い芯が隠されているような感じがありました。

今後とも自衛隊体育学校の発展と自衛官アスリートの活躍を心から祈りしたいと思います。



メダルに触れながら談笑(右写真:山田2尉、左写真:並木3曹)